

区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史（社会学）				学期	曜日	校時
英語名	Society and History（Sociology）						
担当 教官名	堀田 恭子	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	水曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>社会学とは社会を対象として、そこで展開される多様な「関係」について考察するものである。この授業では、社会学的な考え方とは何か、それはどのように現実の生活において応用できるのかなどを、いくつかの社会学的分析を土台にして考えていく。</p>							
テキスト、教材等							
<p>奥村 隆 編『社会学になにができるか』（八千代出版）を教科書として使用する。 参考書に関しては、授業中に適宜紹介する。</p>							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	レポートと定期試験による。						
授 業 計 画							
<p>第一回 「ごつごつした社会」と「なめらかな社会」(1) 第二回 「ごつごつした社会」と「なめらかな社会」(2) 第三回 自我論 - 私と他者 - (1) 第四回 自我論 - 私と他者 - (2) 第五回 儀式と秩序 - 電車内で足を踏まれるということ - (1) 第六回 儀式と秩序 - 電車内で足を踏まれるということ - (2) 第七回 会話分析 - 沈黙にも意味がある - (1) 第八回 会話分析 - 沈黙にも意味がある - (2) 第九回 ジェンダー - 第三の性から考える - (1) 第十回 ジェンダー - 第三の性から考える - (2) 第十一回 権力論 - 安楽死・尊厳死を考える - (1) 第十二回 権力論 - 安楽死・尊厳死を考える - (2) 第十三回 まとめ 第十四回 定期試験</p> <p>(予習・復習に関する指示) 本科目は教科書にそって行うので、教科書の指定した個所を事前に読んでおく必要がある。</p>							